

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年2月28日

計画の名称	八戸市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	八戸市
計画の目標	雨水浸水地区の防災対策として、浸水対策事業を行うことにより、安全・安心で快適な暮らしを実現する。 東日本大震災の被災を教訓に、想定津波浸水区域内の下水道施設の機能を維持するために、耐震化・耐水化を図る。		

計画の成果目標（定量的指標）	下水道による都市浸水対策達成率を36.4%（H23当初）から37.1%（H27末）に増加させる。 -（1）八戸駅西地区の下水道による都市浸水対策達成率を0.4%（H23当初）から24.1%（H27末）に増加させる。 想定津波浸水区域内の終末処理場、ポンプ場の耐震化・耐水化を図る。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 （H23当初）	中間目標値 （H25末）	最終目標値 （H27末）	
下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）	36.4%	36.4%	37.1%	
-（1）八戸駅西地区の下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）	0.4%	0.5%	24.1%	
終末処理場、ポンプ場の実施率 耐震化または耐水化対策を行った施設数（カ所）／総施設数（カ所）	0.0%	0.0%	28.5%	

全体事業費	合計 （A+B+C）	4,277百万円 4,277百万円	A	4,277百万円 4,277百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	0.0% 0.0%
-------	---------------	----------------------	---	----------------------	---	---	-------------------------------	--------------

事後評価（中間評価）の実施体制・実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
事業担当課により、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について評価を行った。	事業終了後（平成29年2月）
	公表の方法
	市公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業													全体事業費 （百万円）	備考			
A1 下水道事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H23	H24	H25	H26	H27		
公共下水道エリア内（雨水）																	
A1-5-1	下水道	一般	八戸市	直接	-	雨水	新設	中部第10幹線	雨水管 L=541m 2500×2000mm等 雨水管 L=541m 2500×2000mm等	八戸市						978 978	
A1-5-2	下水道	一般	八戸市	直接	-	分流雨水	新設	土橋川右岸第一排水区枝線	雨水管 L=320m 600×600-800×800mm 雨水管 L=320m 600×600-800×800mm	八戸市						72 72	
A1-5-3	下水道	一般	八戸市	直接	-	分流雨水	改築	沼館雨水ポンプ場	内装改築（Fス＾ト除去） 内装改築（Fス＾ト除去）	八戸市						74 74	
A1-5-4	下水道	一般	八戸市	直接	-	分流雨水	改築	小中野雨水ポンプ場	内装改築（Fス＾ト除去） 内装改築（Fス＾ト除去）	八戸市						110 110	
A1-5-5	下水道	一般	八戸市	直接		雨水	全種	調査・設計等	管きよ設計 L=1.4km等 管きよ設計 L=1.4km等	八戸市						149 148	
流域関連下水道エリア内（雨水）																	
A1-6-1	下水道	一般	八戸市	直接	-	分流雨水	新設	尻内雨水ポンプ場	処理能力 456m3/min 処理能力 456m3/min	八戸市						1,742 1,742	
A1-6-2	下水道	一般	八戸市	直接	-	分流雨水	新設	馬淵川左岸第五排水区幹線及び枝線	雨水管 L=0.6km 2600×2000mm等 雨水管 L=0.6km 2600×2000mm等	八戸市						547 548	
A1-6-3	下水道	一般	八戸市	直接	-	分流雨水	新設	馬淵川左岸第二排水区枝線	雨水管 L=0.3km 600×600-900×600mm 雨水管 L=0.3km 600×600-900×600mm	八戸市						33 33	浸水被害軽減
A1-6-4	下水道	一般	八戸市	直接	-	分流雨水	新設	八戸駅西地区樋門及び枝線	樋門1基、雨水管L=0.4km 700×700-2600×2000mm 樋門1基、雨水管L=0.4km 700×700-2600×2000mm	八戸市						213 213	
A1-6-5	下水道	一般	八戸市	直接	-	分流雨水	改築	馬淵川左岸第二排水区幹線	L=6.7km（フェンス） L=6.7km（フェンス）	八戸市						192 192	
A1-6-6	下水道	一般	八戸市	直接		分流雨水	全種	調査・設計等	雨水ポンプ場設計、管きよ設計 L=7.7km等 雨水ポンプ場設計、管きよ設計 L=7.7km等	八戸市						142 142	
想定浸水区域内（地震・津波対策）																	
A1-10-1	下水道	一般	八戸市	直接		全種	全種	効率的な事業計画の策定	耐震診断、耐震補強及び津波対策計画策定 耐震診断、耐震補強及び津波対策計画策定	八戸市						25 25	
											小計（下水道事業）		4,277 4,277				
											合計		4,277 4,277				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計											0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> 雨水管渠及び樋門の整備を行い、浸水被害の軽減を図ることができた。 ポンプ場の津波対策方針・施設整備設計を実施したことにより、今後の耐水化への整備方針を図ることができた。 													
定量的指標の達成状況	指標 下水道による都市浸水対策達成率	最終目標値	37.10%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 都市浸水対策に必要な雨水管渠の整備区間の一部において、工事の支障となる地下埋設物や建物等の移転に関する調整に不測の日数を要したことにより、計画期間内の整備工程に遅れが生じたため、目標値を達成できなかった。 都市浸水対策に必要な雨水管渠の整備区間の一部において、工事の支障となる地下埋設物や建物等の移転に関する調整に不測の日数を要したことにより、計画期間内の整備工程に遅れが生じたため、目標値を達成できなかった。 平成25年度にポンプ場津波対策に向けて、基本設計・詳細設計を実施した。工事は平成26年度～平成27年度を予定していたが、既に実施中であった尻内雨水ポンプ場や管渠等の雨水浸水対策工事を優先したため、実施することができなかった。 											
		最終実績値	36.80%													
	指標 - (1)八戸駅西地区の下水道による都市浸水対策達成率	最終目標値	24.10%													
		最終実績値	13.10%													
	指標 終末処理場、ポンプ場の実施率	最終目標値	28.50%													
		最終実績値	0.00%													
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																
3. 特記事項（今後の方針等）																
<ul style="list-style-type: none"> 次期計画において、引き続き雨水幹線及び枝線の整備を実施する。 ポンプ場の耐震化・耐水化について、次期計画において実施する。 																

(図面) 防災・安全交付金

